

3 教科A方式 国語

【解答】

問一 (1) 抑揚 (2) 緩和 (3) 夜更(「夜深」も許容) (4) 仲裁 (5) 無性
問二 (6) きんこう (7) かいむ (8) ちまなこ (9) せっちゅう (10) ぬぐ

【講評】

出題された漢字は、読み・書きとも高等学校の教科書で使用されているものです。全体に書きより読みの方がよくできていました。解答は、点画をはっきりと大きく、丁寧に書くよう心掛けてください。

二

【解答】

問一 ア④ イ② ウ③ 問二 ① 問三 ③ 問四 ② 問五 下の講評を参照 問六 ④
問七 ① 問八 ④ 問九 ④

【講評】

問一は前後の文脈ですんなり答えが出るもの。問二は否定的でない表現を選びます。問三は、村の悲惨な光景に衝撃を受けた結果を読み取ります。問四は「取りつきようがない」という趣旨の選択肢を選びます。問五は、「不満」が自分の表現力、言葉に向けられていることがポイント。村の光景や、それを導いたものに不満を持ったものではありません。問六は、良い土らしい見た目がかえって被害の大きさを伝える、ということ。問七は、「最初の疑問」が「何故(なぜ)」であったことに注意。問八は、「無関心な態度」「冷淡な侮蔑」に、被害を受け入れる諦(あきら)めを見て取る④が正解。①は「事件」という言葉が、②・⑤は自分を守りたいという姿勢が、③は忘れたいという思いが、本文と合致しません。この大間で正答率が特に高かったのは問一・問七、低かったのは問三・問四でした。

三

【解答】

問一 A ① B ③ C ④ 問二 a④ b⑧ c⑤ 問三 d② e④
問四 (1) ② (2) ① (3) ⑤ 問五 ① 問六 ② 問七 下の講評を参照 問八 ⑤ 問九 ⑤

【講評】

問一は基本的な古文単語と文法の問題です。問二・問三も基本的な文法問題で、問三は頻出する「なむ」の識別問題です。問四は主語を問うもので、敬語の使用や文脈から正確に読解できているかを問うています。問五・問六は文脈読解の問題ですが、いずれも敬語の有無から主語が絞り込めます。「わびし」「はしたなし」の意味も正しく押さえてください。問七は、まず「我」が光源氏をさすことを理解した上で、直前の「紫の上が無心に笑みを浮かべている様が、とてもかわいらしい」との記述に着目します。「うつくし」の意味が大きなポイントになります。問八は本文全体の内容理解を問うものです。問九は基本的な文学史の問題です。この大間で正答率が特に高かったのは問二 a b・問四(3)・問五、低かったのは問八・問九でした。

四

【解答】

問一 ア④ イ③ ウ④ 問二 下の講評を参照 問三 家畜 問四 ⑤ 問五 ②
問六 ②・④ (順不同)

【講評】

問一は前後の文脈から判断します。イ・ウは、慣用句や熟語が頭に入っていれば正答率が上がります。問二は、モンテスキューが「人間性の本質を形成するものは色である」と考えていることが本文中に示されており、その部分をふまえてまとめます。理由を問う問題ですから、「～だから」「～という理由」のような解答形式が求められません。問三の正答率は高かったのですが、家畜の「畜」に草冠をつける誤りが目立ちました。抜き出し問題は正解箇所を発見した後の注意力も大変重要です。問四は文脈に惑わされず、熟語の意味を正しく理解していることが重要です。問五は登場人物を落ち着いて整理すれば答えは明らかです。問六は全体の論旨を問う問題です。この大問では問一ウの正答率が低く、ほかは全体によくできていました。